

ハボタンのタネまき

Q. ハボタンの品種や育て方を教えてください。

A. ハボタンの品種は葉色、株の大小、茎の高低で好きなものが選べます。
高温期ですのでできるだけ涼しくして苗を育てます。
育苗初期の虫害対策と10月以降の肥料やりに注意して下さい。

<ポイント>

苗にアオムシ、コナガがつきやすいので防虫網を被せ、殺虫剤を散布します。
10月以降にチッソ肥料を効かせると葉色が悪くなります。

1. 品種

ちりめん種：“かもめ”系。切葉種：“かんざし”、“さんご”、“くじゃく”系。
丸葉種：“つぐみ”、“はと”系。高性種：“瀬戸”、“ルシール”系。

2. 用 土

タネまき：赤玉土（5）とピートモス（5）の混合または市販園芸用土。
栽培：赤玉土(小)（6）、腐葉土（2）、堆肥（2）の混合または市販園芸用土。

3. タネまき

7月下旬～8月上旬が適期です。深さ7～10cmの浅箱の底にゴロ土を敷き、まき土を入れ表面をならして5cm間隔にまき溝を作り、タネとタネの間隔が4cmくらいになるようにまきます。

タネが隠れるくらいに土をかけて、たっぷり水をやります。

発芽するまでは箱の上をヨシズなどで覆って涼しくしてやります。

2～3日で発芽しますから、すぐにヨシズを外して徒長させないようにします。

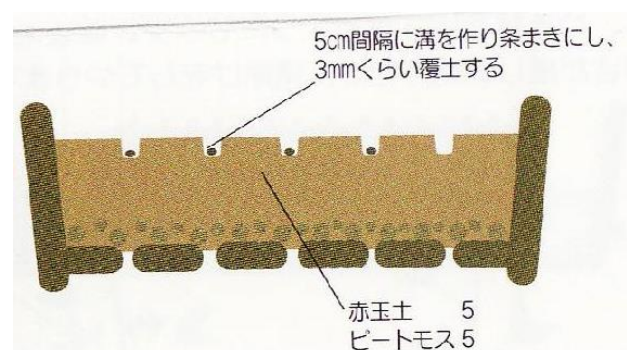
4. 移 植

タネまきしてから7～10日で本葉1.5～2枚になるので、

9cm間隔(鉢)に移植します。

植えてからオーソサイド500倍液を土に注いで立枯病の予防をします。

活着するまでの2～3日は日覆いをします。



9月上中旬に(本葉 10~15 枚)品種にしたがって 15 c m間隔 (鉢)、あるいは 40 c m間隔に植え広げます。

5. 肥 料

10月下旬以後までチッソ肥料が効いているようでは、葉の色づきが遅れるので、元肥は少なくし(1m² 当り化成肥料 60 gが標準)、生育の状態をみながら 8月末まで液肥(1000 倍)を月に 2 回与えます。